

早稲田大学準硬式野球部基本方針

*部活動を通じて社会に貢献する人格を形成する

>大隈重信侯のスポーツ励行の理由

(部方針)

- ① 勉学は、健康が絶対条件である。
② 「文武両立」は、人間形成を学ぶ。
>グラウンドでは

- ① 早稲田大学を代表する部であること。
「早稲田ブランドの誇りと自覚を持つ」
② 目標を持ったやる気のある集団であること。
「一人一人が責任感を持つこと」
③ 良く学び、良く練習すること。
「学業とスポーツの両立」バランス感覚を持つ。
④ 技両向上のため努力すること。
「個人個人が常にワンランク上を目指せ」
⑤ 「守りの野球」の確立。
*バッテリー中心に、内外野の堅実な守備と
走塁、バンドを絡めた頭脳的な野球。
⑥ 「報告 連絡 相談」ホウレンソウの原則厳守。
*個人判断で決めない事。
⑦ 感謝の気持ちを常に忘れないこと。
*周りの人たちに助けられていることの感謝。
⑧ 「仲良しクラブ」は容認しない。

- ① 「規律」と[礼節]を学ぶ。
② 自主性と強調性をモットーに
「自主と独立の精神」を養う。

>練習は

- ① 基礎体力を身に付ける。

*ランニング、ウェイトの励行

- ② 基本練習の反復。

*キャッチボール、素振りの励行

- ③ 目標数値。

- *ベーラン1周 15秒台
*50メートル 6秒台
*遠投 80メートル以上
・定期的に体力測定を実施する。

w

>優勝回数：リーグ戦46回 全日本大学選手権大会6回 体育団体名誉賞：21回

早稲田アスリートプログラム(WAP)

>体育各部部員に期待すること 一文武両道一

1) 早稲田大学における体育各部の存在意義

*体育各部が早稲田大学を代表するにふさわしい組織であること

- 1、全国規模の競技会で優秀な成績を収めることができる高い技両を有する組織であること。
2、「スポーツには人間形成の力がある」
リーダーとしてふさわしい人間となるための教育がなされる組織であること。

2) 体育各部の部員に期待されること

- 1、高い目標をもち、それに見合った努力をすること。
2、早稲田大学の学生として、社会の一員として、将来リーダーとなる人間としてどうあるべきか考えること。
3、我々体育各部の関係者には、義務と責任があることを常に心に留めておくこと。